


## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立黒石養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input checked="" type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	織物ワーク		
	単元(題材)の目標	自分で段数を確認しながら作業を続けることができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	3 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 ・明るく元気な性格で時間いっぱい作業を続けることができる。 ・織りの手順を覚えているが、4段以上一人で数えて織ることが難しい。 ＊マグネットを減らしていく等の支援ツールを使うと、操作する手順が増えると認識し、作業手順にも混乱がみられる。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 iPad		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 絵カードカウンター	アプリマーク 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 ( <input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	作業の手順は覚えているため、正確に段数を数えられるようにすることで、一人で作業できる時間を増やしたいと考えた。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 当初は、段数分のマグネットを準備し、マグネットがなくなったら終わり、という方法をとっていたが、織り作業の工程にマグネットの操作が加わることで混乱を招いてしまい、手順を覚えているはずの織り作業にもミスが出るようになった。 対象生徒は、普段から iPad を利用して動画を検索し視聴することはできていたので、タップ1つで操作できるアプリを利用できるのではないかと考えた。マグネット利用とは違い iPad の操作については抵抗感もなく操作をすぐに覚えることができた。アプリ上の○印をタップしながら作業し、○印がなくなると【終わり】という表示が出る。表示が出たら教師に報告すればよいので、一人で正確に織り作業を継続することができるようになった。 